

膵頭十二指腸切除における術中腹水培養の有用性に関する研究

1. 研究の対象

2016年1月～2020年8月当院の外科で膵頭十二指腸切除術を施行された方

2. 研究目的・方法

膵頭十二指腸切除術は消化器外科手術において侵襲の大きな術式の1つです。近年、その短期成績は向上し全国統計での在院死は下がってきていますが、早期合併症の発症率は依然高く、その中でも術後手術部位感染は頻度が高い重要な合併症の1つです。

今回、当科での膵頭十二指腸切除術中に採取した洗浄腹水培養の結果を解析し、術後感染症との関連性について検討します。また術後感染症のリスク因子として洗浄腹水培養の有用性についても検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、身長、体重、併存疾患、既往歴、喫煙歴、ASA-PS、原疾患、術前胆道ドレナージの有無、術前化学療法の有無、抗菌薬使用状況、手術情報、周術期観察項目、在院日数、転帰 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院 外科 新田 英利 (研究責任者)

熊本市南区近見 5-3-1 TEL : 096-351-8000

以上